

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年6月8日から2025年6月6日まで
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。

主要投資対象	当ファンド	シュローダー・ユーロ株式マザーファンド(米ドル)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ 米ドル・ヘッジド・クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(毎年6月10日および12月10日。ただし当該日が休業日の場合は翌営業日)に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

# シュローダー・ユーロ株式ファンド 米ドル投資型

## 第17期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年12月11日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、「シュローダー・ユーロ株式ファンド 米ドル投資型」は、2023年12月11日に第17期の決算を行いました。  
ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			投資信託 組入比率	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落		
	円		円	騰落	%	百万円
13期(2021年12月10日)	11,686		310	7.6	97.8	926
14期(2022年6月10日)	12,457		510	11.0	97.7	896
15期(2022年12月12日)	12,254		0	△1.6	97.9	771
16期(2023年6月12日)	12,780		480	8.2	97.9	767
17期(2023年12月11日)	12,833		40	0.7	98.3	741

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		投資信託 組入比率	託券率
		騰落	率		
(期首) 2023年6月12日	円 12,780		% -		% 97.9
6月末	13,061		2.2		98.2
7月末	13,090		2.4		98.3
8月末	13,143		2.8		98.6
9月末	12,671		△0.9		99.4
10月末	12,108		△5.3		98.7
11月末	12,789		0.1		99.5
(期末) 2023年12月11日	12,873		0.7		98.3

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

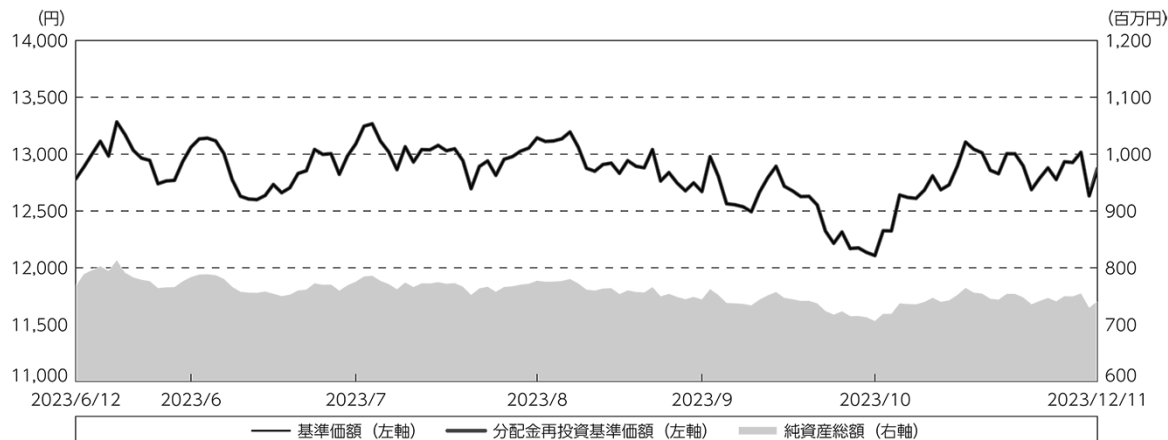
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

(注) 当ファンドは、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○運用経過

(2023年6月13日～2023年12月11日)

期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年6月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,780円でスタートした基準価額は、12,833円(分配後)で期末を迎え、期首比0.7%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

当ファンドは前期末比でマイナスのリターンとなりました(ユーロ・ベース)。MSCI EMUインデックス(ユーロ・ベース)と比較した場合、セクター別では、情報技術や不動産の銘柄選択がプラス効果となった一方、資本財・サービスや金融の銘柄選択がマイナスの影響となりました。

銘柄別では、ドイツの不動産会社であるアラウンドタウンの保有が主にプラス効果となりました。当期以前、欧州の不動産セクターは業績悪化や債務返済能力を巡る懸念から軟調に推移していました。当期にかけては、金利低下や、同社が市場予想を上回る決算を発表したこと等が支援材料となり、上昇に転じました。その他では、スウェーデンの紙・包装材メーカーであるピロウドの保有もプラス効果となりました。一方、ドイツのエネルギー関連企業であるシーメンス・エナジーの保有が主にマイナスの影響となりました。2023年6月下旬、同社の風力タービン部門の一部製品に欠陥が見つかったことが発端となり業績が低迷し、株価は軟調に推移しました。また、フランスの決済会社であるワールドラインの保有がマイナスに影響しました。同社は、マクロ経済の悪化が消費者の購買行動に影響を与えるとの見方から業績見通しを引き下げたことが嫌気されました。

## 投資環境

当期のユーロ株式市場は上昇して終わりました。当期序盤の2023年6月中旬から7月にかけては、ユーロ圏のインフレ圧力が低下したことが追い風となったほか、一部の企業が好調な4-6月期決算を発表したことが好感され相場を牽引し、上昇しました。8月は製造業、サービス業ともに景気減速に対する懸念が広がったほか、9月は金利上昇が消費者の可処分所得や消費支出に与える影響が意識される等、投資家心理が悪化したことで、当期中盤にかけては下落しました。10月は、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が政策金利を長期にわたって高水準で維持するとの見方が広がったほか、イスラエルとイスラム組織ハマスの間で戦争が勃発し、地政学的リスクが高まったことも投資家心理にとって重しとなり、下落基調を継続しました。11月に入ると、米国や欧州圏など世界各地でインフレ圧力の低下が継続していることが確認されたことで、金利がピークに達したとの見方が広がり、上昇に転じました。12月上旬は、FRBやECBの早期利下げ転換期待が広がる中、金利が低下基調を維持したことが支援材料となり、上昇トレンドを維持して当期を終えました。（株式市場の騰落は、ユーロ・ベースで記載しております。）

## 当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（米ドル）において、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ 米ドル・ヘッジド・クラスIの運用について

当期、ポートフォリオ構成の一部変更を実施しました。

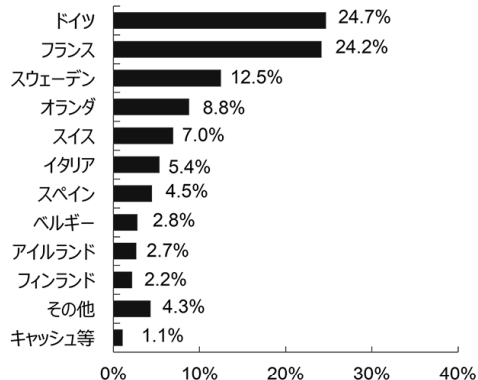
セクター別では、ヘルスケアや一般消費財・サービスに対して強気の見方とし、保有比率を引き上げました。一方、素材や公益事業に対して弱気の見方とし、保有比率を引き下げました。

銘柄別では、スイスの医薬品メーカーであるサンドの新規ポジションを構築しました。同社は、スイスの医薬品大手であるノバルティスのジェネリック部門が独立して設立され、ジェネリック医薬品とバイオシミラーの製造に注力しています。事業分離による経営改善への効果を期待するほか、バイオシミラーは薬事承認のプロセスや製造過程が複雑であるため、同社はジェネリック医薬品事業のみを展開する企業と比較して、競合優位性を有するとみています。その他では、デンマークのバイオ医薬品会社であるジールランド・ファーマへ新規投資を行いました。肥満や糖尿病に効果があるとして注目を浴びるGLP-1受容体作動薬に関して、同社は独自の治療薬を有しています。副作用への懸念からGLP-1の長期服用は現実的ではないとの指摘もありますが、同社の治療薬は相対的に安全性が高いことが報告されており、成長を期待しています。

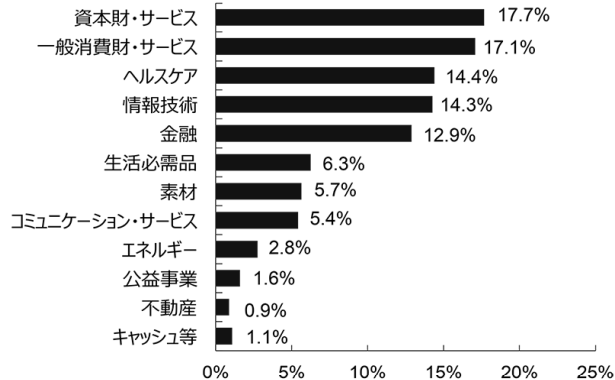
一方で、ドイツの化学メーカーであるワッカー・ケミーについて、保有を解消しました。同社の株価は同業他社比で堅調に推移しましたが、世界経済の減速や在庫調整によって化学業界に対する需要は低迷しており、ビジネス環境の悪化を懸念し、全売却を行いました。

作成基準日：2023年11月30日

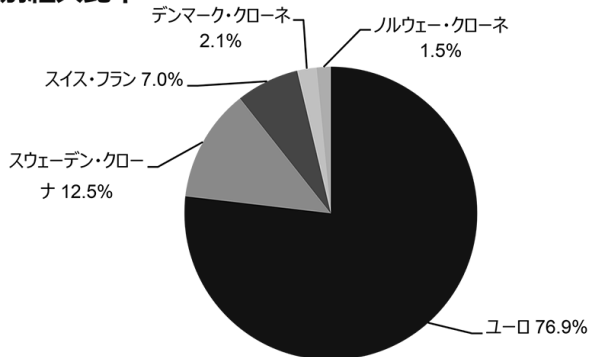
■ 国別組入比率



■ 業種別組入比率



■ 通貨別組入比率



(注) 業種は、GICS（世界産業分類基準）の分類、国・地域別は、原則として当該株式が主に取引されている取引所の所在国に基づき、主要投資対象ファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、組入比率は、主要投資対象ファンドにおける組入比率です。

(注) 組入比率は、四捨五入して表示しているため合計が100%にならないことがあります。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、1万口当たり課税前で40円とさせていただきます。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2023年6月13日～ 2023年12月11日
当期分配金	40
(対基準価額比率)	0.311%
当期の収益	40
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,966

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

ユーロ圏の総合購買担当者景気指数(PMI)は当期間を通じて50を下回る水準で推移したものの、一部の経済指標は改善傾向にあり、ユーロ圏の景気は転換点に達した可能性を示唆しています。最新の四半期決算シーズンにおいては、低調な内容を発表する欧州企業も見られましたが、2024年に向けて改善に向かう可能性があります。また、インフレ減速を受けて金利が低下しており、不動産銘柄やグロース銘柄等、金利感応度が高い企業は恩恵を受け始めているほか、中小型銘柄の株価パフォーマンスも改善傾向にあります。一部の限られた銘柄が株式市場を牽引する相場が続いていましたが、足元では多くの銘柄が上昇傾向に転じ始めています。

こうした環境下、当ポートフォリオでは引き続き銘柄固有リスクを重視し、スタイルやファクターにかかわらず成長要因を有し、株価が割安な水準にある銘柄を追求していきます。景気循環に連動する銘柄とディフェンシブ性を有する銘柄とのバランス、またグロース銘柄とバリュー銘柄とのバランスを維持した構成とする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 6 月13日～2023年12月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	107	0.834	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 53 )	(0.410)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドの運用判断、受託会社への指図</li> <li>・基準価額の算出ならびに公表</li> <li>・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等</li> <li>・運用報告書等各種書類の交付</li> <li>・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等</li> <li>・ファンドの財産保管・管理</li> <li>・委託会社からの指図の実行等</li> </ul>
（ 販 売 会 社 ）	( 53 )	(0.410)	
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.014)	
(b) そ の 他 費 用	7	0.058	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用</li> <li>・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用</li> <li>・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用</li> <li>・その他は、金銭信託手数料等</li> </ul>
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.010)	
（ 印 刷 費 用 ）	( 6 )	(0.045)	
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	
合 計	114	0.892	
期中の平均基準価額は、12,810円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

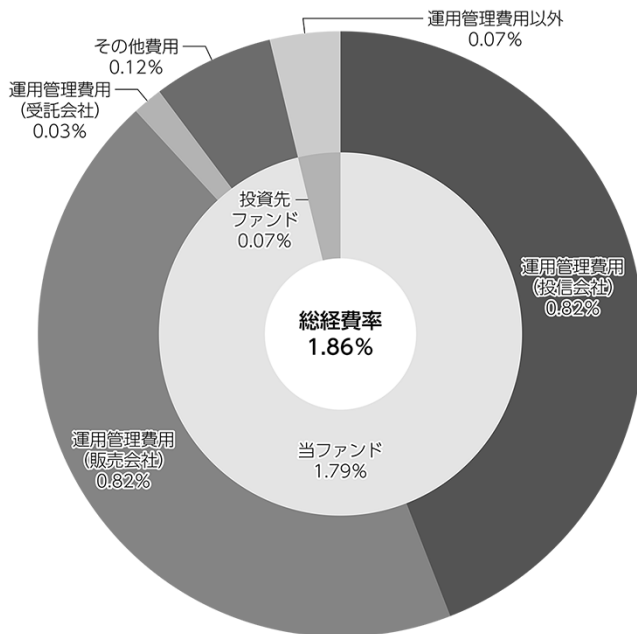
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.86
①当ファンドの費用の比率	1.79
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



○売買及び取引の状況

(2023年6月13日～2023年12月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (米ドル)	千口 766	千円 1,394	千口 35,260	千円 66,760

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月13日～2023年12月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月11日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (米ドル)	千口 427,726	千口 393,232	千円 750,248

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (米ドル)	千円 750,248	% 99.6
コール・ローン等、その他	3,070	0.4
投資信託財産総額	753,318	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (米ドル) において、当期末における外貨建純資産 (728,542千円) の投資信託財産総額 (753,320千円) に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.40円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	753,318,737
シュロダー・ユーロ株式マザーファンド(米ドル) (評価額)	750,248,460
未収入金	3,070,277
(B) 負債	12,113,159
未払収益分配金	2,310,310
未払解約金	3,070,277
未払信託報酬	6,318,371
その他未払費用	414,201
(C) 純資産総額(A－B)	741,205,578
元本	577,577,535
次期繰越損益金	163,628,043
(D) 受益権総口数	577,577,535口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,833円

[元本増減]

期首元本額	600,434,678円
期中追加設定元本額	12,844,556円
期中一部解約元本額	35,701,699円

○損益の状況 (2023年6月13日～2023年12月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	12,151,116
売買益	13,363,311
売買損	△ 1,212,195
(B) 信託報酬等	△ 6,732,572
(C) 当期損益金(A+B)	5,418,544
(D) 前期繰越損益金	153,747,839
(E) 追加信託差損益金	6,771,970
(配当等相当額)	( 14,490,533)
(売買損益相当額)	(△ 7,718,563)
(F) 計(C+D+E)	165,938,353
(G) 収益分配金	△ 2,310,310
次期繰越損益金(F+G)	163,628,043
追加信託差損益金	6,771,970
(配当等相当額)	( 14,490,526)
(売買損益相当額)	(△ 7,718,556)
分配準備積立金	156,859,213
繰越損益金	△ 3,140

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(5,416,737円)、信託約款に規定する収益調整金(14,490,526円)および分配準備積立金(153,752,786円)より分配対象収益は173,660,049円(10,000口当たり3,006円)であり、うち2,310,310円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	40円
----------------	-----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年12月11日現在）

<シュローター・ユーロ株式マザーファンド（米ドル）>

下記は、シュローター・ユーロ株式マザーファンド（米ドル）全体(393,232千口)の内容です。

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
シュローター・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ・クラスI	0.9	0.9	0.113	16	0.0	
シュローター・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ 米ドル・ヘッジ・クラスI	72,283	68,860	5,010	728,526	97.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	72,284	68,861	5,010	728,542	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	-	<97.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、このファンドが組入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## 〈シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（米ドル） 第8期〉

【計算期間 2022年6月11日から2023年6月12日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年6月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ 米ドル・ヘッジド・クラスⅠ投資証券」</li> <li>・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスⅠ投資証券」</li> <li>・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」</li> </ul> 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数*		投資信託 組入比	純資産額
	円	騰落率	騰落率	中率		
4期(2019年6月10日)	10,149	△ 8.9	45,546.93	△ 0.1	97.3	百万円 1,551
5期(2020年6月10日)	10,821	6.6	46,144.90	1.3	97.7	1,058
6期(2021年6月10日)	14,278	31.9	60,712.11	31.6	88.2	1,011
7期(2022年6月10日)	17,336	21.4	69,911.17	15.2	93.0	941
8期(2023年6月12日)	18,775	8.3	84,487.61	20.8	93.6	803

(注) 基準価額は1万円当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数*		投資信託 組入比
	円	騰落率	騰落率	中率	
(期首) 2022年6月10日	17,336	—	69,911.17	—	93.0
6月末	16,298	△ 6.0	67,060.68	△ 4.1	98.8
7月末	16,306	△ 5.9	68,753.40	△ 1.7	99.0
8月末	16,988	△ 2.0	69,163.89	△ 1.1	98.3
9月末	15,996	△ 7.7	66,389.59	△ 5.0	97.9
10月末	17,201	△ 0.8	74,404.28	6.4	98.6
11月末	17,426	0.5	75,480.01	8.0	97.9
12月末	16,356	△ 5.7	71,217.44	1.9	96.8
2023年1月末	17,175	△ 0.9	69,017.33	△ 1.3	98.0
2月末	18,410	6.2	79,323.61	13.5	98.7
3月末	17,851	3.0	79,075.13	13.1	98.0
4月末	18,305	5.6	80,160.11	14.7	98.1
5月末	19,286	11.2	84,246.37	20.5	98.1
(期末) 2023年6月12日	18,775	8.3	84,487.61	20.8	93.6

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 騰落率は期首比。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数といたしまして、MSCI EMUインデックス\*（ネットリターン）米ドルヘッジを委託会社が独自に円換算し、記載しております。当指数は配当込み指数です。

\*MSCI EMUインデックスは、MSCI Inc. が算出・公表する、欧州経済通貨同盟（European Economic and Monetary Union）に属する先進国の株式を対象とした株価指数です。

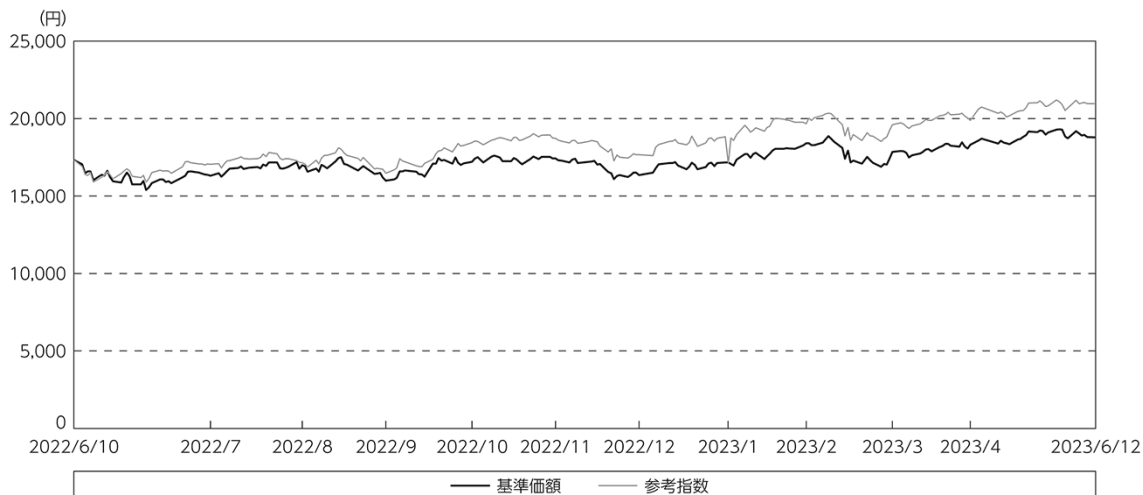
当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。

MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

## ○運用経過

(2022年6月11日～2023年6月12日)

## 期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首(2022年6月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの参考指数は、MSCI EMUインデックス(ネットリターン)米ドルヘッジ(円換算)です。

## ○基準価額の主な変動要因

期首17,336円でスタートした基準価額は、18,775円で期末を迎え、期首比8.3%の上昇となりました。一方、参考指数であるMSCI EMUインデックス(ネットリターン)米ドルヘッジ(円換算)は、20.8%の上昇で、当ファンドは、参考指数を12.5%下回りました。

当ファンドは前期末比でプラスのリターンとなりました(ユーロ・ベース)。MSCI EMUインデックス(ユーロ・ベース)と比較した場合、セクター別では、情報技術と資本財・サービスの銘柄選択がプラス効果となった一方、コミュニケーション・サービスや金融の銘柄選択がマイナスの影響となりました。

銘柄別では、米国の半導体グループであるNvidiaが非常に好調な業績見通しを発表したことを受け、AIによる成長期待に対する熱意の高まりにより、情報技術セクターは大幅にアウトパフォームしました。オランダの銘柄で、半導体製造装置メーカーであるASMインターナショナルや、統合型の半導体実装装置メーカーであるBEセミコンダクター・インダストリーズの保有が主にプラス効果となりました。一方、ドイツの医薬品メーカーであるバイエルの保有がマイナスの影響となりました。株価の下落は、2023年度の業績予想が弱い内容であったためと考えられます。同社は、他社が生産を中止した除草剤グリホサートの部門で2022年に大きな利益を得ましたが、2023年は製品価格が低下しています。また、中国での大量販売(ただし価格は低位)の契約も失いました。ただし、同社の事業部門の分離計画について、次期CEOより更なる情報が得られることを期待しており、この計画は大きな価値を引き出す可能性があると考えています。

## 投資環境

当期のユーロ株式市場は上昇して終わりました。期初は下落して始まり、ロシアからのガス供給の継続性に対する懸念が高まったことが材料視されました。2022年7月は一転、上昇しました。金利の上昇予想が緩和したことや、一部の大手ハイテク企業やエネルギー企業の利益回復が好材料となりました。8月は下落しました。米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの抑制を優先する方針を改めて表明したことが材料視されました。9月は、高インフレと金利上昇に対する懸念の高まりが企業と消費者を圧迫力する中、下落傾向が続きました。10月は一転、上昇しました。欧州中央銀行（ECB）は政策金利をさらに0.75%引き上げ、ユーロ圏経済が景気後退に向かう可能性があることを認めました。市場はこの発言を利上げのペースが間もなく緩和される可能性を示すものと受け止め、株価の支援材料となりました。11月は上昇しました。インフレがピーク・アウトするとの期待や、中国が厳しいゼロコロナ政策を一部緩和する兆し等がプラス要因となりました。12月は下落しました。ECBが0.50%の利上げを決定した後、利上げを継続する方針を示したことなどが材料視されました。2023年1月は上昇しました。中国の経済活動の再開と、インフレの鈍化により金利のピークが近いことへの期待が支援材料となりました。2月は上昇し、エネルギー価格の上昇圧力が和らいだため深刻な景気後退の懸念が緩和されたことが好材料となりました。3月は米国で銀行の相次ぐ破綻を受けて金融市場が混乱する中、欧州でも経営難に陥った金融機関のクレディ・スイスがスイス当局の仲介によりUBSに買収されるなど、銀行セクターのボラティリティ（変動性）が高まりましたが、月末にかけて欧米の金融システムへの懸念が後退し、市場は回復しました。4月も引き続き上昇し、企業業績が概ね堅調であったことが株価の支援材料となりました。5月は下落し、セクター別で半導体関連銘柄にけん引された情報技術が上昇した一方、その他の全セクターが下落しました。6月は当期末にかけて上昇しました。（株式市場の騰落は、ユーロ・ペースで記載しております。）

## 当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオ構成の一部変更を実施しました。

セクター別では、一般消費財・サービスや生活必需品に対して強気の見方とし、保有比率を引き上げました。一方、ヘルスケアや素材に対して弱気の見方とし、保有比率を引き下げました。

銘柄別では、フランスの電気機器メーカーであるルグランに新規投資を行いました。住宅設備については、景気減速懸念、特に米国の住宅市場の低迷の影響を受けています。しかしながら、非住宅部門は回復しつつあります。同社は、強固なバランスシートを有している高クオリティ企業であり、運営も順調であると評価しています。電気機器業界は規制が強化されており、高い参入障壁があります。また、同社はデータ・センターの成長機会を有し、そのニーズはデジタル革命の進行とAIの利用と共に高まっている中、将来の高い成長に繋がると予想しています。

一方、オーストリアの産業機器メーカーであるアンドリッツについては、株価が堅調に推移したため、利益確定のため売却を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

## ○今後の運用方針

ユーロ株式市場は、2023年初来では深刻な景気後退が回避される中、底堅く推移しています。しかしながら、経済成長や金利の先行きについては依然として懸念が残ります。

雇用は引き続き堅調ですが、消費者の可処分所得が金利上昇によって圧迫され続けられれば、特定のセクターで売上が縮小する可能性があります。また、消費者が特定の支出（例えば旅行など）を他の支出より優先させることも考えられます。

また、M & Aの動きが活発化する可能性があるとして、引き続き考えています。2023年4月に実施されたSoftware AGへの入札は、過去1年間に割安となった中小型の企業が魅力的な買収のターゲットになっていることを示しています。

こうした環境下、当ポートフォリオでは引き続き銘柄固有リスクを重視し、スタイルやファクターにかかわらず成長要因を有し、株価が割安な水準にある銘柄を追求していきます。景気循環に連動する銘柄とディフェンシブ性を有する銘柄とのバランス、またグロース銘柄とバリュー銘柄とのバランスを維持した構成とする方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年6月11日～2023年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.010	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.008)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料等
合 計	2	0.010	
期中の平均基準価額は、17,299円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



○売買及び取引の状況

（2022年6月11日～2023年6月12日）

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エキイティ 米ドル・ヘッジ・クラスI	4,536	315	23,374	1,615

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年6月11日～2023年6月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年6月12日現在）

外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイデティ・クラスI	0.9	0.9	0.11	15	0.0
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エキイティ 米ドル・ヘッジ・クラスI	91,121	72,283	5,390	751,556	93.6
合 計	口 数 ・ 金 額	91,122	72,284	5,390	751,571	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	-	<93.6%>	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）< >内は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

（2023年6月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 751,571	% 93.4
コール・ローン等、その他	53,058	6.6
投資信託財産総額	804,629	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

（注）当期末における外貨建純資産（751,571千円）の投資信託財産総額（804,629千円）に対する比率は93.4%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=139.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年6月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	804,629,138
コール・ローン等	53,057,362
投資証券(評価額)	751,571,776
(B) 負債	1,560,698
未払解約金	1,559,401
その他未払費用	1,297
(C) 純資産総額(A-B)	803,068,440
元本	427,726,418
次期繰越損益金	375,342,022
(D) 受益権総口数	427,726,418口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,775円

[元本増減]

期首元本額	543,116,738円
期中追加設定元本額	6,657,599円
期中一部解約元本額	122,047,919円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・ユーロ株式ファンド 米ドル投資型	427,726,418円
-------------------------	--------------

○損益の状況（2022年6月11日～2023年6月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 11,576
支払利息	△ 11,576
(B) 有価証券売買損益	58,431,261
売買益	70,161,309
売買損	△ 11,730,048
(C) 保管費用等	△ 76,725
(D) 当期損益金(A+B+C)	58,342,960
(E) 前期繰越損益金	398,424,699
(F) 追加信託差損益金	5,282,063
(G) 解約差損益金	△ 86,707,700
(H) 計(D+E+F+G)	375,342,022
次期繰越損益金(H)	375,342,022

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・ユーロ株式マザーファンド（米ドル）が保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ 米ドル・ヘッジド・クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主 な 投 資 対 象	ユーロ圏各国の企業が発行する株式など	
運用の基本方針 および主な投資制限	<p>ユーロ圏の企業の株式及び株式関連証券に投資することによって、中長期的に費用控除後でMSCI EMUインデックス（税引後配当込み）を上回る運用資産の成長を目指します。</p> <p>※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■ファンドはアクティブ運用され、欧州経済領域に籍のある企業の株式及び株式関連証券への投資割合は純資産の75%以上とします。</p> <p>■ユーロを通貨として採用している国にある企業の株式及び株式関連証券への投資割合は純資産の2/3以上とします。</p> <p>■ファンドは純資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に他の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。</p> <p>■運用資産の価格下落リスクの抑制および資産の効率的な運用のため、デリバティブ取引を活用することがあります。</p> <p>■投資運用会社の評価方式に基づき、MSCI EMUインデックス（税引後配当込み）よりも総合して高いサステナビリティ・スコアを維持します。（投資プロセスは交付目論見書「追加的記載事項」に記載の「サステナビリティ基準」をご参照ください。）</p> <p>■ファンドは、www.schroders.com/en/lu/private-investor/gfcからアクセス可能なファンドの「サステナビリティ情報」に記載される範囲を超えて特定の活動、業種または発行体グループには直接投資しません。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.07%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決 算 日	12月31日	
設 定 日	2015年5月20日	
ファンドの関係法人	管 理 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投 資 運 用 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保 管 会 社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2022	Schroder ISF EURO Equity EUR
<b>NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR</b>	<b>2,959,038,379</b>
<b>INCOME</b>	
Dividend income, net of withholding taxes	78,290,599
Interest income from investments, net of withholding taxes	-
Interest on swap contracts	-
Bank interest	1
Other income	-
<b>TOTAL INCOME</b>	<b>78,290,600</b>
<b>EXPENSES</b>	
Management fees	17,045,164
Performance fees	-
Administration fees	3,336,831
Taxe d'abonnement	703,488
Depository fees	155,574
Distribution fees	862,828
Bank and other interest expenses	150,506
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	500,984
<b>TOTAL EXPENSES</b>	<b>22,755,375</b>
Less: Expense subsidy	-
<b>NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)</b>	<b>55,535,225</b>
<b>Net realised gain/(loss) on:</b>	
Sale of investments	105,850,701
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	25,073,080
Swaps contracts	-
Currency exchange	( 139,099)
<b>NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR</b>	<b>130,784,682</b>
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:</b>	
Investments	( 554,083,341)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	( 533,379)
Swaps contracts	-
Currency exchange	1,345
<b>NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR</b>	<b>( 554,615,375)</b>
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS</b>	<b>( 368,295,468)</b>
Subscriptions	710,764,193
Redemptions	( 1,326,360,676)
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL</b>	<b>( 615,596,483)</b>
Dividend distributions	( 772,587)
<b>NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR</b>	<b>1,974,373,841</b>

【上位10銘柄】

（2022年12月31日現在）

	銘柄名	業種	通貨	国（地域）	比率（%）
1	バイエル	ヘルスケア	ユーロ	ドイツ	5.07
2	フィナンシエール・リシュモン	一般消費財・サービス	スイス・フラン	スイス	4.99
3	キアゲン	ヘルスケア	ユーロ	ドイツ	4.37
4	バイヤスドルフ	生活必需品	ユーロ	ドイツ	3.66
5	BE・セミコンダクター・インダストリーズ	情報技術	ユーロ	オランダ	3.57
6	フォーダム	公益事業	ユーロ	フィンランド	3.44
7	ボルシェ・オートモービル・ホールディング	一般消費財・サービス	ユーロ	ドイツ	3.33
8	MTU エアロ・エンジンズ	資本財・サービス	ユーロ	ドイツ	3.30
9	SKF	資本財・サービス	スウェーデン・クローナ	スウェーデン	2.72
10	ワールドライン	情報技術	ユーロ	フランス	2.65
				<b>銘柄数</b>	<b>50</b>

「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&amp;P グローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮にいれる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。          ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。</p> <p>■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ） エス・エイ
	投資運用会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ） エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2022	Schroder ISF US Dollar Liquidity USD
<b>NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR</b>	<b>368,935,521</b>
<b>INCOME</b>	
Dividend income, net of withholding taxes	-
Interest income from investments, net of withholding taxes	6,735,556
Interest on swap contracts	-
Bank interest	698,196
Other income	-
<b>TOTAL INCOME</b>	<b>7,433,752</b>
<b>EXPENSES</b>	
Management fees	740,191
Performance fees	-
Administration fees	239,719
Taxe d'abonnement	47,033
Depository fees	20,516
Distribution fees	-
Bank and other interest expenses	571
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	100,530
<b>TOTAL EXPENSES</b>	<b>1,148,560</b>
Less: Expense subsidy	-
<b>NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)</b>	<b>6,285,192</b>
<b>Net realised gain/(loss) on:</b>	
Sale of investments	( 629,755)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	-
Swaps contracts	-
Currency exchange	( 52,392)
<b>NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR</b>	<b>( 682,147)</b>
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:</b>	
Investments	( 682,172)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	-
Swaps contracts	-
Currency exchange	3
<b>NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR</b>	<b>( 682,169)</b>
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS</b>	<b>4,920,876</b>
Subscriptions	639,029,718
Redemptions	( 580,931,887)
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL</b>	<b>58,097,831</b>
Dividend distributions	-
<b>NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR</b>	<b>431,954,228</b>

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2022

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
<b>Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>				
<b>Bonds</b>				
<b>Financials</b>				
US Treasury 0.125% 31/05/2023	USD	30,793,000	30,231,268	7.00
US Treasury 0.5% 30/11/2023	USD	25,250,000	24,308,057	5.63
US Treasury Bill 0% 05/01/2023	USD	33,897,000	33,890,729	7.85
US Treasury Bill 0% 26/01/2023	USD	20,795,000	20,746,509	4.80
US Treasury Bill 0% 23/02/2023	USD	13,890,000	13,808,601	3.20
US Treasury Bill 0% 23/03/2023	USD	17,065,000	16,906,758	3.91
US Treasury Bill 0% 20/04/2023	USD	17,571,000	17,342,568	4.01
US Treasury Bill 0% 18/05/2023	USD	14,644,000	14,395,867	3.33
US Treasury Bill 0% 07/09/2023	USD	18,936,000	18,368,890	4.25
US Treasury Bill 0% 02/11/2023	USD	17,808,000	17,136,332	3.97
			<b>207,135,579</b>	<b>47.95</b>
<b>Total Bonds</b>			<b>207,135,579</b>	<b>47.95</b>
<b>Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>			<b>207,135,579</b>	<b>47.95</b>
<b>Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>				
<b>Commercial Papers</b>				
<b>Financials</b>				
Credit Agricole Corporate and Investment Bank SA 0% 13/03/2023	USD	24,000,000	23,785,623	5.51
DNB Bank ASA 0% 14/04/2023	USD	15,000,000	14,802,731	3.43
DNB Bank ASA 0% 14/08/2023	USD	15,000,000	14,535,690	3.37
Mizuho Bank Ltd. 0% 23/02/2023	USD	25,000,000	24,826,216	5.74
MUFG Bank Ltd. 0% 28/03/2023	USD	25,000,000	24,719,378	5.72
Royal Bank of Canada 0% 17/03/2023	USD	24,250,000	24,010,110	5.56
Santander UK plc 0% 05/06/2023	USD	25,000,000	24,483,208	5.67
Societe Generale SA 0% 17/01/2023	USD	15,400,000	15,366,813	3.56
Toronto-Dominion Bank (The) 0% 12/01/2023	USD	20,000,000	19,968,851	4.62
			<b>186,498,620</b>	<b>43.18</b>
<b>Total Commercial Papers</b>			<b>186,498,620</b>	<b>43.18</b>
<b>Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>			<b>186,498,620</b>	<b>43.18</b>
<b>Total Investments</b>			<b>393,634,199</b>	<b>91.13</b>
<b>Cash</b>			<b>38,496,218</b>	<b>8.91</b>
<b>Other assets/(liabilities)</b>			<b>( 176,189)</b>	<b>(0.04)</b>
<b>Total Net Assets</b>			<b>431,954,228</b>	<b>100.00</b>